KONICA C35

各部の名称

①シャッターボタン
②巻き上げレバー
③ノーコードフラッシュコンタクト
④アクセサリークリップ
⑤距離基準マーク
⑥フィルム
カウンター
⑦ストラップ
取付け金具
⑧マニュアルリング
⑨距離・
AUTO 指標
⑩セルフ
タイマーレバー
⑪巻きもどしクランク
⑫巻きもどしノブ
⑬距離計
ファインダー窓
⑭距離計窓
⑮マニュアル
ボタン
⑯フィルム感度切替えリング
⑰CdS 受光窓
⑱フォーカスノブ
⑲フィルム感度
表示窓
⑳ヘキサノンレンズ
KONICA C35
KONICA
HEXANON
1:2.8
f=38mm
DIN
ASA

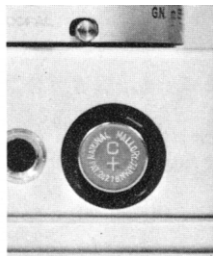
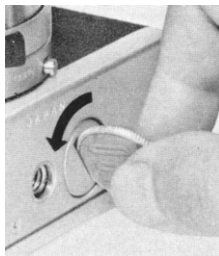
㉑ファインダー接眼
㉓スプロケット
㉕フィルム差し込み溝
㉒フィルムガイド
㉔巻き取りスプール
㉖フラッシュ
接続ソケット
㉞裏ぶた
㉗巻きもどし軸
㉝プレッシャー
プレート
㉛巻きもどしボタン
㉘パトローネ室
㉙水銀電池室
㉚三脚ねじ
㉜フィルム安定ローラー

撮影前に水銀電池を入れます

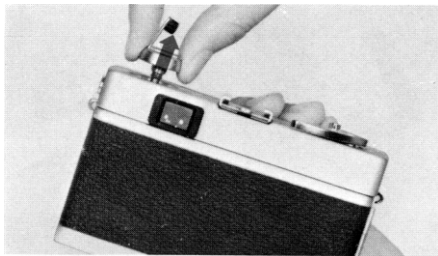
水銀電池が入っていませんと、CdSメーターは作動しません。付属の水銀電池の表面を乾燥した清潔な布でよく拭いてから、カメラ底部の水銀電池室に入れてください。

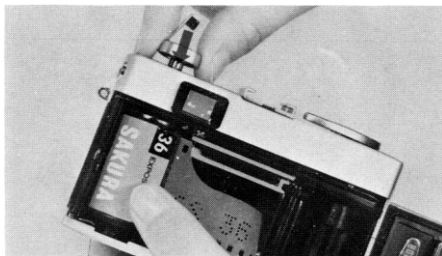
1 水銀電池室㉙のふたを、硬貨などで左に回してはずします。

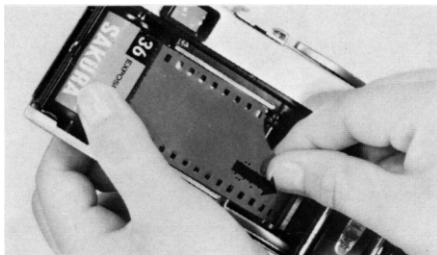
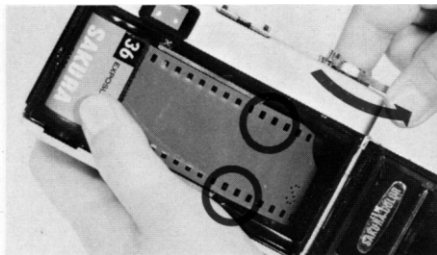
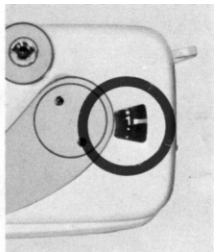
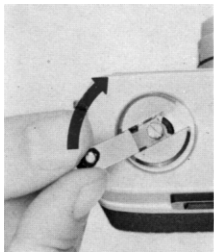
2 水銀電池の＋マークが見えるように入れふたを右に回して、しっかりねじ込んでおいてください。⊕と⊖の入れ方をまちがえるとCdSメーターは作動しませんからご注意ください。

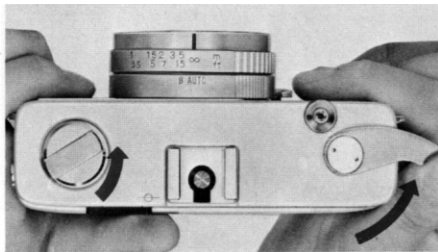
● 水銀電池は普通のご使用ならば１年以上は十分にもちます。寿命がくると性能が急激に落ち、CdSメーターが動かなくなります。明るい所でもメーター指針が振れないときは、新しい水銀電池と取り替えてください。

● 水銀電池は1.3V、ナショナルH-C＜M-1C＞、東芝HS-C＜TH-KC＞、マロリーPX-675、エバレディーEPX-675などを使用してください。
なお、類似形状で規定電圧が異なったものがありますからまちがわないように注意してください。

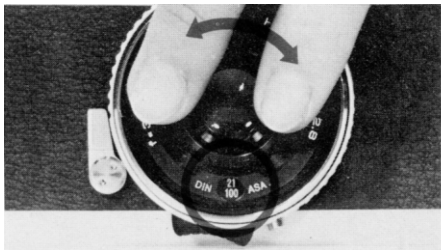
● カメラを長期間ご使用にならないときは、水銀電池を取り出し、湿気のないところに保存してください。

フィルムの入れ方

● フィルムはパトローネ入り35 ㎜の12枚、20枚、36枚どりが使えます。

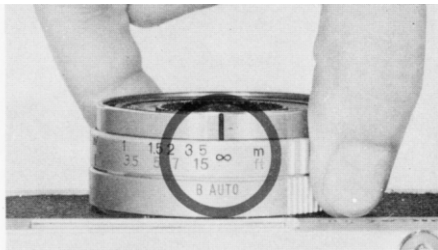
● フィルムを入れるときは、直射日光を避け日陰で行ってください。日陰のないところでは、ご自分のからだの陰を利用するのも一つの方法です。

1 巻きもどしクランク⑪を起してノブ⑫を引き出し、さらにもう一段強く引き上げて裏ぶた㉞を開きます。

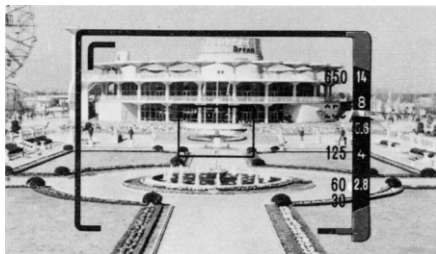
2 パトローネの軸が出ているほうを底部に向けてパトローネ室に収め、巻きもどしノブを元の位置まで押し込みます。十分もどりきらないときは、左右どちらかへ少し回すと楽に押し込めます。

3 左手でパトローネを軽く押えながら右手でフィルムを持って少し引き出し、その先端を巻き取りスプール㉔のフィルム差し込み溝㉕に差し込みます。どの溝でも結構ですから、入れやすい溝に差し込んでください。

4 パトローネを軽く押えたまま、右手で巻き上げレバー②を回します。次にシャッターボタン①を押し、カラ写しをしてフィルムのパーフォレーション<フィルムの穴>の両側ともスプロケット㉓の歯にかみ合っていることを確認して裏ぶたを閉じます。裏ぶたは指先で押えるとパチンとしまります。

5 裏ぶたを閉じたら、巻きもどしクランクを起し、クランクにしるされている矢印の方向に静かに回して、パトローネ内のフィルムのタルミをとっておきます。

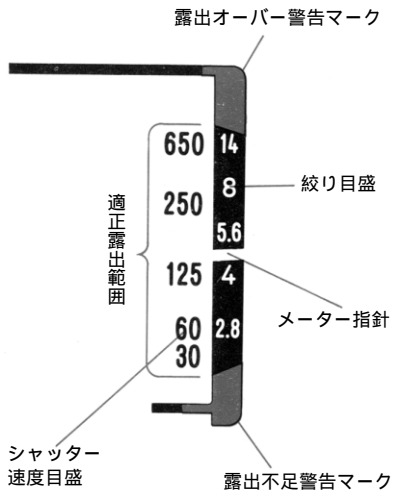
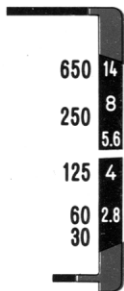
6 フィルムを巻き上げシャッターボタンを押す操作を３度くり返し、フィルムカウンター⑥の指標に１をだします。ここから撮影ができます。

7 この操作の途中で巻き上げを行うごとに、巻きもどしノブが回れば、フィルムが正しく送られていることになります。

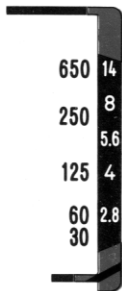
● フィルムカウンターは、巻き上げレバーを操作するごとに一目盛ずつ進み、撮影枚数を示します。撮影が終り裏ぶたを開くと、自動的にスタートマーク<S>にもどります。

1 フィルム感度〈ASA〉を合わせます。

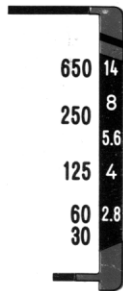
フィルム感度切替えリング⑯に指をかけて回し、フィルム感度表示窓⑲に使用フィルムの感度に相当する目盛を合わせます。

● フィルム感度目盛のASAとDINは、どちらもフィルム感光度のことで、フィルムの外箱や説明書に書いてあります。
目盛の中間は使えませんから、必ずクリックで止まった位置でお使いください。

2 マニュアルリングをAUTOに合わせます。

マニュアルボタン⑮を指で押しながらマニュアルリング⑧を回し、AUTOを指標⑨に合わせます。クラッチが入り確実に固定されます。

3 ファインダーをのぞいてください。

ファインダー視野内で、1.露出の確認　2.ピント合わせ　3.構図を決めることができます。

1.露出の確認

指針が適正露出範囲にあるとき

EE撮影ができます。ピントを合わせ構図を決めてシャッターボタンを押してください。

指針が下側の露出不足警告マークにあるとき

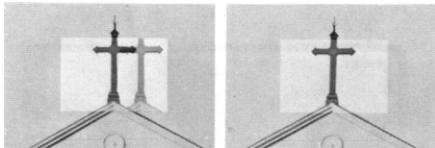
被写体が暗すぎ露出不足になるので、EE撮影はできません。フラッシュ撮影に切り替えてください。

指針が上側の露出オーバー警告マークにあるとき

被写体が明るすぎ露出オーバーになります。

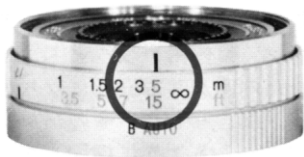
NDフィルターをお使いください。

2.ピント合わせ

ピントが合っていないとき

ピントが合ったとき

ファインダーをのぞきながらフォーカスノブ⑱を回して、中央にある黄色い距離計ニ重像部の二つに分れた被写体の像が完全に一致したとき、正しいピントが得られます。

距離基準マーク

レンズの距離目盛は、フィルム位置を示した距離基準マーク＜⊖＞⑤からの距離が表示してあります。

グリーン目盛を使いましょう

日中の屋外撮影では、あらかじめ距離目盛を５mに合わせておくだけで、いちいちピントを気にする必要なく、いつでもシャッターボタンを押すだけのスナップ撮影を楽しむことができます。

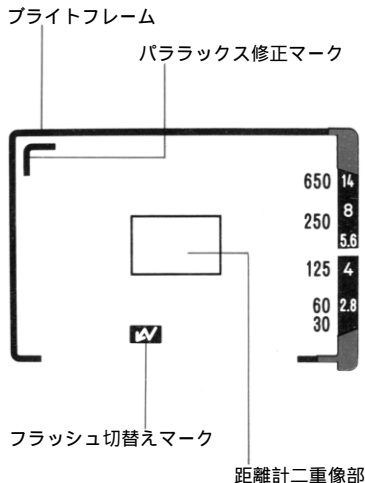
1. フォーカスノブを真下に合わせると、距離目盛は５mに合います。
2. ファインダー内のメーター指針がF5.6の目盛より上にあれば、３m以上のどんな被写体にも正確なピントでEE撮影ができます。

3. 構図を決めます

ファインダー視野内のブライトフレームで囲まれた内側が写る範囲になります。

撮影のときは、写したいものがフレーム内いっぱいに入るように構図を決めてください。

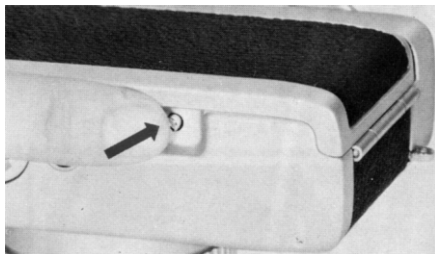
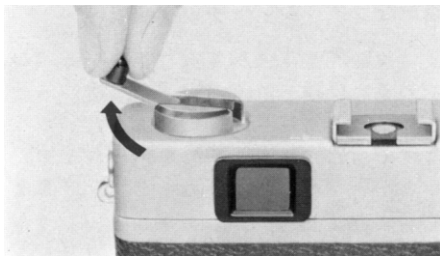
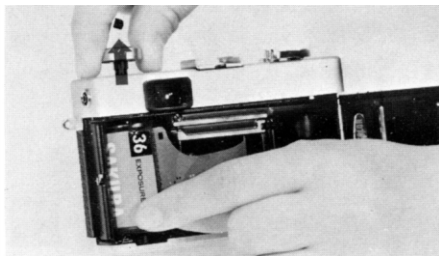
ただし、近距離撮影＜１ｍ＞のときは、パララックス＜視差＞といってファインダーとフィルム画面とでは被写体を見る位置が多少違うので、パララックス修正マークの内側に、写したいものが入るようにします。

フラッシュ切替えマーク：マニュアルリングをAUTOからはずすと、フラッシュ切替えマークが現われ、フラッシュ撮影またはＢ＜バルブ＞撮影になっていることを表示します。

4 カメラをしっかり構えて、シャッターボタンを押します。

よいピントの写真を写すために、カメラは両手で軽く持って、ファインダーをのぞき、カメラぶれを起さないようにシャッターボタンを静かに押してください。

フィルムの巻きもどし方

カメラに入れたフィルムのきまった枚数の撮影が終ったら、元のパトローネに巻きもどしてから取り出します。巻きもどさずに裏ぶたをあけてしまうと、フィルムは全部だめになってしまいますからご注意ください。

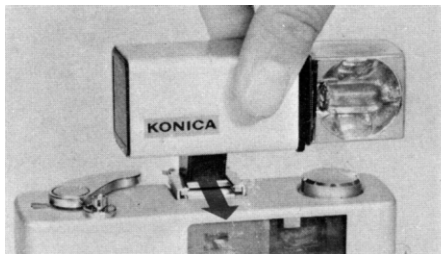
● フィルムが終りになって、巻き上げレバー②が途中で動かなくなることがあります。このような場合には、無理に巻き上げないで、巻きもどしボタン㉛を押したままレバーを止まる位置まで巻き上げて元にもどしてください。
● カメラからパトローネを取り出すときは、直射日光のあたらないところで行ってください。

1 カメラ底部の巻きもどしボタン㉛を押し込みます。

2 巻きもどしクランク⑪を起し、クランクにしるされている矢印の方向に回します。巻きもどしボタンが回転しながら、フィルムがパトローネに巻きもどされていきます。

3 巻きもどしボタンの回転が止まったら——このとき手ごたえが急に軽くなる——巻きもどし完了です。巻きもどしノブ⑫を引き出して裏ぶた㉞を開き、パトローネを取り出してください。

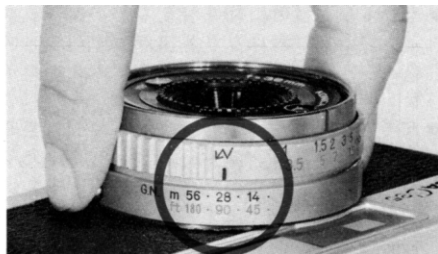
● 巻きもどしボタンは、レバーを巻き上げると自動的に元にもどります。

フラッシュ撮影

ファインダー内のメーター指針が下側の赤マーク内に入ったときは、きれいな写真になりませんので、できるだけフラッシュ撮影をしてください。

簡単なフラッシュマチック機構

コニカC35は、使用するフラッシュバルブあるいはストロボのガイドナンバーを合わせると、被写体にピントを合わせるだけで自動的に適正絞りが得られます。
ガイドナンバーによるめんどうな計算は必要ありません。コニカキューブフラッシュとの組み合わせで、簡単にフラッシュ撮影ができます。
なお、ガイドナンバーを合わせると、フォーカスノブの作動は適正露出の得られる範囲内だけで動くように制限されます。

1　フラッシュガンを取り付けます。

コニカキューブフラッシュなどノーコード式が使えるものは、アクセサリークリップ④に取り付けるだけで、ノーコードフラッシュコンタクト③により直接接続されます。
そのほかのフラッシュガンまたはストロボを使うときは、クリップに取り付け、コード先端のプラグをカメラのフラッシユ接続ソケット㉖に差し込みます。

2　ガイドナンバーを合わせます。

マニュアルボタン⑮を指で押しながらマニュアルリング⑧を回し、マークの指標に使用するフラッシュのガイドナンバーに相当する目盛を合わせます。
目盛を正しく合わせると、クラッチが入り確実に固定されます。

● フラッシュ撮影に切り替えると、シャッター速度は1/25秒になりＸ接点ですから、M級・FM級のフラッシュバルブ、ストロボも同調します。

● ガイドナンバーを合わせる前に距離目盛を３ｍに合わせて、フォーカスノブを指先で固定したままマニュアルリングを回すようにしますと、ガイドナンバーのどの目盛も確実に合わせられます。

● ガイドナンバーの緑色、28<90>はASA100のフィルムでフラッシュキューブまたはAG-1Bバルブの常用ガイドナンバーとしてお使いください。

● ガイドナンバーの中間数字は、次のようになっています。

			〈40〉		〈20〉		〈10〉	
G.N.	m	56	・	28	・	14	・	
	ft	180	・	90	・	45	・	
			〈130〉		〈65〉		〈32〉	

● ガイドナンバーはバルブの外箱に表示されています。表示のないものは、指定された距離に絞り値を掛けた数値がガイドナンバーになります。

G.N. 〈m〉	フラッシュ連動範囲
10	1ｍ ～ 3ｍ
14	1.2ｍ ～ 5ｍ
20	1.4ｍ ～ 7ｍ
28	1.7ｍ ～ 7ｍ
40	2ｍ ～ 7ｍ
56	3ｍ ～ 7ｍ

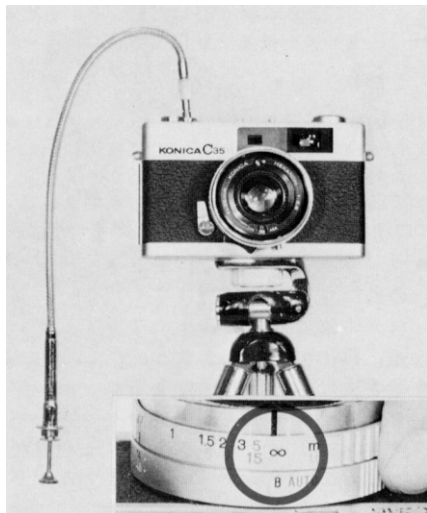
3 ピントを合わせシャッターをきります。

被写体にピントを合わせると、撮影距離に応じた適正絞りが自動的に決まります。
シャッターボタンを静かに押してください。ボタンを押すと同時に発光してフラッシュ撮影が行なわれます。

セルフタイマーの使い方

コニカC35のセルフタイマーは、EE撮影、フラッシュ撮影のいずれの場合でも使用できます。
巻き上げレバー②を操作してからセルフタイマーレバー⑩をいっぱいに回してセットし＜この逆の順序でもよい＞シャッターボタン①を押すとセルフタイマーが働き、約10秒たってシャッターがきれます。

● シャッターボタンを押すとき、カメラの前に立つことは避けてください。ご自分の陰に対する露出になってしまい、適正露出が得られません。
● 巻き上げレバーの操作を忘れ、セルフタイマーのみセットしてシャッターボタンを押すと、セルフタイマーだけが作動してシャッターがきれませんからご注意ください。

B＜バルブ＞露出について

マニュアルボタン⑮を指で押しながらマニュアルリング⑧を回し、B目盛を指標⑨に合わせてシャッターボタンを押すと、B露出といってボタンを押している間だけシャッターが開き、指を離すと閉じるので、夜景撮影などの長時間露出に用います。

- B露出では絞りは開放になりますので、F2.8に対する露出を与えてください。
- B露出を使用するときは、三脚をカメラ底部の三脚ねじ㉚に取り付けるか、固定した台の上にカメラを安定させてください。
  ケーブルレリーズはシャッターボタンにねじ込んでお使いください。

コニカ C35 のおもな性能

型式	35mmレンズシャッター式EEカメラ 〈自動露出メーター内蔵、連動距離計付〉
画面サイズ	24×36mm
使用フィルム	35mmフィルム〈J 135〉パトローネ入り
レンズ	ヘキサノン38mm　F2.8　〈3群4枚構成〉　画角60° カラーダイナミックコーティング
焦点調節	レンズ全群回転繰出しヘリコイド式　回転角48° 至近撮影距離1m
シャッター	コパルBマット特殊プログラム自動シャッター　ビハインド式B・1/30～1/650秒　無段階変速〈B露出は絞り開放のみ〉 フラッシュ時は1/25秒　X接点　セルフタイマー内蔵
露出調節	CdS使用のEE〈エレクトリック・アイ〉機構による自動露出調節　受光角上下26°　左右30° 電源に1.3V水銀電池使用〈JIS　H－C型〉
ＥＥ連動範囲	ASA100のフィルムでEV8〈F2.8　1/30秒〉～EV17〈F14.3　1/650秒〉　ASA400では低輝度EV6まで連動可能 フィルム感度目盛ASA25～400　DIN15～27

ファインダー	採光式ブライトフレーム　倍率0.46×　パララックス修正マーク、シャッター速度・絞り目盛、露出警告マークおよびフラッシュ切替え確認用マーク表示
距離計	一眼二重像合致式連動距離計　補色鏡使用　有効基線長12mm
フラッシュ連動	マニュアル〈フラッシュ〉切替え時にクラッチ方式でフォーカスリングと結合するフラッシュマチック機構　距離連動範囲1〜7m　ガイドナンバー目盛10 14 20 28 40 56〈m〉　ノーコードフラッシュコンタクトとフラッシュ接続ソケット付
フィルム巻き上げ	トップレバーによる一操作巻き上げ　シャッターセルフコッキング　巻き上げ角132°　引出し角30°　二重露出防止
フィルムカウンター	裏ぶたを開くと自動的にスタートマークにもどるオートマチックフィルムカウンター　順算式
フィルム装てん	コニカＥＬ方式〈特許コニリール使用〉
フィルム巻きもどし	巻きもどしボタンを一度押してクランクで巻きもどす　巻きもどしボタン自動復帰式
フィルター	ねじ込み式　ねじ径46mm　ピッチ0.75mm
大きさ・重量	112mm〈幅〉×70mm〈高さ〉×51mm〈厚さ〉　370g